

令和6年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書
(令和5年度事業)

鏡野町教育委員会

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。)第26条の規定により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなっています。

本報告書は、令和5年度における鏡野町教育委員会の活動及び事務について点検及び評価を行い、その概括を報告するものです。

II 点検及び評価の対象

次の項目について、令和5年度の実績に基づき点検・評価を行いました。

①鏡野町教育委員会の活動状況

②鏡野町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

① 教育委員会の開催

教育委員会は、定例会を毎月1回と、必要に応じて臨時会を開催しています。令和5年度は、定例会を12回、臨時会を2回開催しました。ほぼ毎回全員が出席し、十分な時間をかけて審議及び協議を行いました。

日にち	主な議決・協議事項
4月28日	鏡野町学校運営協議会委員及び鏡野町立学校評議員の委嘱について 鏡野町スポーツ推進委員の委嘱について 鏡野町文化財保護審議会委員の委嘱について 鏡野町オオサンショウウオ保護対策委員の委嘱について 鏡野町指定文化財の指定解除について 令和5年度 教育目標・基本方針の修正について
5月30日	鏡野町立小学校通学区域に関する規則の一部改正について 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会委員の委嘱について 鏡野町社会教育委員(兼公民館運営審議会委員)の委嘱について 石田奨学会運営審議会委員の委嘱について 松本奨学会運営審議会委員の委嘱について 上齋原奨学会運営審議会委員の委嘱について 鏡野町地域学校協働活動推進員の委嘱について
6月29日	鶴喜小学校の大規模改修について 中国地区市町村教育委員会連合会研修会について
7月25日	鏡野町総合文化施設運営審議会委員の委嘱について 鏡野町立図書館協議会委員の委嘱について 鏡野町郷土館運営委員会委員の委嘱について 鏡野町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について

8月24日	令和6年度使用小学校教科書採択について 令和6年度著作教科書及び一般図書採択について
9月13日	(臨時会) 鏡野町立奥津小学校の小規模特認校指定について 鏡野町立小学校小規模特認校制度実施要綱の制定について
9月26日	令和5年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書について
10月25日	鏡野町総合文化施設条例施行規則の一部改正について (仮称)鏡野町多目的公園名称選定委員会設置要綱の制定について
11月22日	令和6年度 教育基本目標・基本方針(案)について 令和5年度12月補正予算について 公表用議事録の作成内容について
12月19日	鏡野町都市公園条例の制定について 公の施設に係る指定管理者の指定について (鏡野町総合文化施設・鏡野町立図書館)
1月26日	鏡野町中学生夢づくり事業実施要綱の制定について 学校医の委嘱について
2月29日	鏡野町教職員宿舎条例の一部改正について 鏡野町体育施設条例の一部改正について 鏡野町学校運営協議会設置等に関する規則の一部改正について 鏡野町総合文化施設条例施行規則の一部改正について 鏡野町立図書館条例施行規則の一部改正について 公の施設に係る指定管理者の指定について(鏡野ふれあい運動公園) 令和6年度当初予算について 令和5年度3月補正予算について 令和6年度教育目標・基本方針・重点課題(案)について
3月10日	(臨時会) 県費負担教職員の任免について
3月22日	鏡野町教育研修会規則の一部改正について 鏡野町都市公園条例施行規則の制定について

② 総合教育会議の開催

総合教育会議は地教行法第1条の4に規定された会議で、教育大綱の策定、教育・学術・文化の振興のための重点的施策、児童・生徒の生命または身体に関する緊急措置などについて、首長と教育長が対等に協議及び調整を行うもので、必要に応じて随時開催をしています。令和5年度は2回開催し、内容は次のとおりです。

12月1日	大野小学校の教育環境のあり方について 令和6年度 教育基本目標・基本方針について 中学校部活動の地域連携について() 学校情報機器の整備計画について() 総合文化施設・図書館の指定管理について 社会教育施設の整備について
2月6日	大野小学校の教育環境のあり方について

③ 研修

例年各種研修会等に参加し識見の向上に努めています。令和5年度は可能な研修会には参加するよう努めました。今後も引き続き積極的に研修会等に参加してまいります。

6月29日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会春季研修会 「大館ふるさとキャリア教育について」 秋田県大館市教育委員会 教育長 高橋 善之 氏
11月24日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会 ①「学校部活動の地域移行について」 岡山県教育庁保健体育課学校体育班 指導主事(主幹) 宮崎 准二 氏 ②「地域と学校の連携・協働のあり方」 ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～ 津山教育事務所義務教育支援課学力向上班・生涯学習課生涯学習班

④ 施設訪問

所管施設の現状把握を目的に、町内の全小学校・鏡野中学校を訪問し、加えて新築の公民館を訪問しています。学校訪問では、教育活動の参観を行うことで、現状の把握をしたり、取組の成果や課題を協議しました。令和5年度は、下記のとおり施設訪問を行いました。

10月13日	鶴喜小学校 ・ 南小学校
11月6日	香々美小学校 ・ 奥津小学校 ・ 泉公民館
11月13日	大野小学校 ・ 鏡野中学校

2 教育委員会が管理執行する事務

① 基本的・総務的事務

教育行政重点施策の策定など教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針は、原案や資料を提出し、教育委員会で協議や審議を行っています。規則、告示及び訓令の制定、改廃は、教育委員会で審議し承認を得たのちに施行しています。教育予算は、事務局が各学校等の意見を踏まえて作成し、教育委員会で協議し、町長部局を通じて議会に上程しています。

② 人的管理に属する事務

町立小中学校教員の県費教職員の人事については、津山教育事務所と連携を図りながら、

学力向上や特別な支援を要する児童生徒への対応など、学校組織の強化を目指して行っています。また個々の教職員の資質・指導力向上を図るため、校内、校外における様々な研修を実施するとともに、各校と連携を図りながら学校運営に関する必要な指示、連絡、指導助言を行っています。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 学校教育及び就学前教育

① 学力の向上

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、学校教育活動を教育課程に基づいて平常に行うことができるようになりました。学力向上については、学力向上推進委員会を中心に、本町の調査結果の共有を行うと共に、学力向上に係る講師を招聘して学力向上に向けて、取組のヒントをいただく機会を設けました。また、各校には学力向上推進プランの作成や年間を通じて課題に応じた取組の実践を指導しました。「基礎・基本の定着」と、「活用力の育成」の2つの方針のもと、取組を進めてきました。

また、家庭学習では自主学習の励行や児童生徒の意欲を引き出す評価方法、考えを書いたり伝えたりする授業場面の設定、読書推進などにも取り組みました。それらの取組の成果から、全国平均を上回る学年や教科も見られるようになってきました。

特に岡山県学力・学習状況調査については、改善がみられる学年も増えてきました。基礎・基本の定着に向けた取組や授業改善に各校が取り組んできた成果が現れてきています。しかし、基盤となる学級づくりに苦慮した学年は学力が定着しにくく、回復にも力があるところです。学級づくりと授業改善は両輪でバランスよく行うように学校へ指導をしています。

GIGAスクール構想の充実に向けては、児童生徒一人1台の端末活用の推進に努めてきました。ロードマップを作成し、個別学習ドリル「eライブラリ」の積極的な活用や、授業での端末活用や持ち帰りを促進するように働きかけてきました。端末の活用は、中学校での利活用が進んでいますが、小学校での活用が課題となっています。

これらの取組の結果、改善した項目もありますが、まだまだ課題も多くみられています。まずは、落ち着いた学級経営を行う基盤づくりを大事にするとともに、学力調査の分析をもとに各学校の強みや弱み、学年の実態に応じた取組を行うようにしています。

今後も引き続き家庭とも連携しながら、学習時間の確保や基礎・基本の定着及び活用力の育成のための取組を確実に進めてまいります。

【全国学力・学習状況調査】※平均正答率の全国との差

	年度	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B	英語
小学校	平成30年度	-7.7	-3.7	-6.5	-4.5	
	令和元年度	-1.8		-1.6		
	令和2年度	-2.8		-3.1		
	令和3年度	0.3		-3.2		
	令和4年度	-3.6		-3.2		
	令和5年度	-2.2		-4.5		

中学校	平成30年度	0.9	0.8	0.9	-1.9	
	令和元年度	0.2		-1.8		-4
	令和2年度	-1.35		-3.8		-5.9
	令和3年度	-7.6		-14.2		
	令和4年度	-2.0		-0.4		
	令和5年度	+0.2		-4.0		-7.6

注)1. 令和元年度から、各教科の A(基礎)と B(活用)がまとめられ、一体的に問う問題形式に変更されました。中学校の英語は3年ごとに行われています。

2. 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が行われなかったことから、岡山県学力・学習状況調査の結果を表示しています。全国学力・学習状況調査の対象学年が小学校6年・中学校3年であるのに対し、岡山県学力・学習状況調査は小学校3～5年生、中学校1～2年生に対して実施しています。

② 豊かな心・健やかな体の育成

令和5年度は鏡野町生徒指導推進連絡協議会を3回開催し、保こ幼小中で「メディアコントロール」と「生徒指導の重点に沿った実践」に取り組みました。テーマに沿って、各校の取組や情報交換を行うことで、子どもたちの成長過程に応じた指導の方法や実態を知ることができ、横のつながりと共に、縦の連携へとつながっています。

また、小学校区での連絡会や鏡野町教育研修会の部会での連携なども含め、教職員が情報を共有し、子どもの発達段階を踏まえた指導の系統性を考慮したり、生徒指導面や就学に向けて情報の引き継ぎをしたりして、よりよいつながりに向けての情報連携に努めました。

スマホやSNSを含むメディアについては、その使用方法が生活習慣の乱れにつながるケースもあり、児童生徒には望ましい使い方を伝えていく必要があります。今後も、PTAとも連携し、家庭でのルール作りなどを通して、望ましい使い方に取り組んでいきたいと思ひます。

いじめについては、積極的な認知による未然防止と早期対応に取り組んでいます。軽微なものから積極的に認知するように努めていますが、いじめアンケートや細やかな見守り等に取り組むことで、若干の減少につながりました。

今後も軽微なものから積極的に認知をし、いじめの見逃しをなくすように努めてまいりたいと考えています。

長期欠席・不登校については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と情報を共有して、一つ一つの事案に丁寧に根気強く対応しました。個々では登校する日が増えたり、鶴山塾に定期的に参加したりと外出する機会が増え、状態の改善が見られていますが、小学校において長期欠席者数が大きく増加したことが課題の一つです。これまで、長期欠席がみられなかった学校からも家庭的な背景等から出現してきていることが増加につながっています。

今後も、日頃の児童生徒の状況をしっかりと把握するように努め、気になる兆しが現れた際には早めに手立てを講じるとともに、関係機関と連携を図りながら状態が悪化しないようにしてまいりたいと思ひます。

【いじめ・長期欠席・不登校件数】※各年度3月の状況

		いじめ	長期欠席	不登校
小学校	平成30年度	4	9	3
	令和元年度	10	8	2
	令和2年度	6	10	2
	令和3年度	15	8	4
	令和4年度	12	8	5
	令和5年度	9	20	4
中学校	平成30年度	0	16	11
	令和元年度	1	19	13
	令和2年度	1	15	9
	令和3年度	2	17	5
	令和4年度	1	25	4
	令和5年度	1	29	8

③ 職員の資質・指導力・組織力の向上

町教育研修会で部会ごとにテーマを決め、指導案の検討、公開授業などを通して授業研究や実践交流、情報交換を活発に行い、教職員の資質や指導力の向上を図りました。音楽部会、図画工作美術部会、特別支援部会、養護部会には幼稚園・保育園の職員も参加し、園校種間の連携につながるような研究も行いました。令和5年度には、新たに情報教育部会が設置され、各校の情報教育推進についての情報共有やICTを活用した指導法の研修を行うことができました。

中学校は、令和4年度まで県指定事業で行っていた「タテ持ち」を引き続き数学科で実施しました。定期的に「教科会」を開催し、日常的にOJT(On-the-Job-Training)を行い、指導力、授業の質の向上などの効果を図ることができました。今後も可能な範囲で続けていく予定にしています。

各校での講師を招聘しての校内研修会や校外の研修会・研究発表会への参加は、コロナ禍に比べて積極的に行う様子が見られました。オンラインでの研修等は、各校から自主的に参加する様子が見られました。

夏季の教職員全員研修会は、特別支援教育をテーマに、希望ヶ丘ホスピタルから高山恵子医師をお迎えして「こどもと接するとき大切にしたいこと～発達障害ガイダンス&精神科医の立場から～」についての講演会を、会場への限定参加とオンラインでの参加によるハイブリッド形式で実施しました。

教職員が研修する機会の一つとして、町教育研修会の各部会を活性化していくことも大切です。部会運営費を十分活用し、外部講師を招聘するなど外部の風を積極的に入れていくように働きかけていくことが必要です。

今後は、鏡野町内だけの研修会では中学校は広がりが見られないため、久米郡との共同開催など広域で実施できるように関係市町村と連携を図っていく必要があると考えています。

【鏡野町教育研修会開催状況】

	部会数(休部を除く)	研修会回数合計
平成30年度	15部会+2編集部会	62回
令和元年度	13部会+2編集部会	54回
令和2年度	14部会+2編集部会	58回
令和3年度	14部会+2編集部会	60回
令和4年度	13部会+2編集部会	54回
令和5年度	14部会+2編集部会	56回

④ 特別な支援

各校の状況に応じて町費講師等の加配を行い、児童・生徒の個々のニーズにあったきめ細かい支援に努めました。

「鏡野町手をつなぐ育成会」と連携した各学校の特別支援学級に対する助成や、子育て支援課の発達支援コーディネーターなどとの連携による各校、園の巡回相談や、教育支援委員会などを通じ、通級指導教室や特別支援学級の利用につなぎました。

特別支援学級の児童生徒は近年増加してきています。支援の必要な子どもが保育園等の段階から増加してきていることは実態としてみられますが、早い段階から子育て支援課の発達支援コーディネーターやスクールソーシャルワーカーが巡回相談や子どもの状況を把握し、早期の手立てを講じていることが児童生徒の安定につながり、ひいては落ち着いた学校運営にも結び付いていると考えています。

また、教育支援委員会では基準や必要な資料を明確に示し、校内での支援委員会において調査・検討をした上で、町の教育支援委員会で審議・判定をしています。

今後は、教職員の特別支援教育に関する知識や指導法などの研修を継続的に行い、教職員の指導力を高めていくことが必要と考えています。

【特別支援学級の状況等】

	年度	特別支援学級 児童生徒数	特別支援学級数	町費特別支援講師数
小学校	平成30年度	29	8	8
	令和元年度	36	8	8
	令和2年度	38	8	10
	令和3年度	41	10	10
	令和4年度	55	11	12
	令和5年度	51	10	18
中学校	平成30年度	15	3	1
	令和元年度	17	3	2
	令和2年度	18	3	2
	令和3年度	21	3	2
	令和4年度	25	4	2
	令和5年度	24	4	2

【就学前通級指導教室利用者数】※毎月の利用者数合計

平成30年度	43人
令和元年度	22人
令和2年度	27人
令和3年度	28人
令和4年度	36人
令和5年度	26人

⑤ 安全確保と教育条件の整備

令和5年度の施設整備等については、鶴喜小学校の運動場へ仮設校舎を設置し、校舎の大規模改修工事を行いました。また、令和6年度に予定している鏡野中学校改修工事の設計業務を委託し、中学校の特別支援学級の間仕切り工事を行いました。

備品購入では、電子黒板を鏡野中学校へ2台、大野小学校・鶴喜小学校・奥津小学校へ各1台を配置しました。また、鏡野中学校のスクールバスとして14人乗りのコンピューターを購入しました。小規模な修繕については、随時対応し安全安心でより良い教育環境の整備に努めました。

通学路の安全については、平成27年2月に策定した「鏡野町通学路交通安全プログラム」では5年に1回合同点検を実施することになっています、令和5年度に報告のあった各学校等からの通学路の改善要望35箇所全てについて、現状を確認し各学校、建設課やくらし安全課と協議を行いました。町で対応が可能なものは、できる限り早急に改善を行うとともに、警察や県等の対応が必要なものについては、それぞれの機関にお願いをしています。

今後も引き続き学校施設及び通学路の安全確保に努めてまいります。

【通学路安全点検】

年度	箇所数	備考
平成29年度	32箇所	交通危険箇所点検
平成30年度	11箇所	防犯上危険箇所点検
令和元年度	15箇所	防犯上(6箇所) 交通安全上(9箇所)
令和2年度	なし	交通危険箇所点検
令和3年度	10箇所	交通危険箇所点検
令和4年度	31箇所	交通危険箇所点検
令和5年度	35箇所	交通危険箇所点検

注)「鏡野町通学路交通安全プログラム」

児童生徒及び園児が安全に通学や通園ができるように、通学路の安全確保を図るため、関係機関（鏡野町教育委員会・鏡野町建設課・鏡野町くらし安全課・岡山県美作県民局建設部・津山警察署・鏡野町内小中学校・鏡野町内幼稚園・保育園・こども園）が連携して、継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施の効果把握や対策の改善・充実を行います。

(2) 社会教育

① 生涯学習の推進

生涯学習の推進については、様々な時期や場面に応じた学習機会を提供し、誰もが生涯にわたって学習するテーマを持ち、自由に選択して学ぶことができるよう中央公民館を中心に12の地区公民館を拠点として事業を行いました。それぞれの公民館では主催講座、自主講座を開催しており、町民が目的に合わせて学習をしています。

ア 公民館活動

中央公民館では、大集会室、講座室、各会議室や総合文化施設などを活用し主催講座12講座、自主講座17講座を開催しました。

地区公民館でも講座・教室を開催しましたが、地域活動の文化祭・運動会・世代間の交流行事などは、行事の企画、実施にあたって、地域づくり協議会や地域住民が中心となって取り組むことが多く、学習活動の広がりを見せています。

公民館活動の担い手のひとつである文化協会会員の多数が、鏡野地域の町民であることから、今後も引き続き町内全体の会員を増やすよう進めてまいります。

【地区公民館の講座・教室数】

	講座・教室			講座・教室			講座・教室	
	R4	R5		R4	R5		R4	R5
中央 公民館	27	29	香南 公民館	16	15	奥津 公民館	7	7
芳野 公民館	13	13	香北 公民館	7	7	上齋原公民館	14	13
大野 公民館	17	17	郷 公民館	18	16	富 公民館	11	12
小田 公民館	17	15	泉 公民館	14	16	計	183	180
中谷 公民館	13	13	羽出 公民館	9	7			

おおむね 65 歳以上の町民などを対象としたシニアスクールは、シニア講座と名称を変更し、公民館講座として開催しました。

イ 人権教育

人権教育については、町人権教育推進委員会などと連携し、人権問題講演会を開催し、人権教育の推進を図りました。

また、コロナ禍により3年間開催できていなかった人権教育推進委員会を開催しました。

ウ 図書館

図書館は、利用登録者数が1万2千人を超え、貸出密度(町民1人当たりの延べ貸出冊数)が、8.0 で利用者也貸し出し冊数も県下でトップクラスとなっています。

障害者差別解消法(H28年4月施行、R3年5月改正)及び読書バリアフリー法(R元年6月施行)への対応と併せて、デジタル社会の推進に向けた取り組みの一つとして、津山圏域定住自立圏事業として、令和6年度から電子図書館を導入することとなり、そのための準備を進めました。

蔵書の充実や、より良い資料の選定と収集を図ることはもちろん、「ブックスタート事業」や「セカンドブック事業」などによる子供と本との出会いの提供など、利用者の増加を図りました。

令和6年度より指定管理者による管理となりますが、連携を密に図り、より使いやすい、親しみやすい図書館を目指していきます。

【図書館の利用登録者数等】

年度	利用登録者数	開館日数	入館者数	貸出冊数
令和4年度	12,144人 (内訳)町内7,064人 町外5,080人	288日	30,981人	87,527冊
令和5年度	12,482人 (内訳)町内7,229人 町外5,253人	289日	49,689人	98,240冊

エ 文芸振興

文芸振興では、鏡野町文化協会と連携をとりながら諸事業を行いました。

万葉のみち青少年文芸選奨(現代詩・短歌・俳句・川柳の4部門)、香々美川文芸選奨(短歌・俳句・川柳の3部門)の表彰を行いました。

【文芸選奨の応募者数】

年度	万葉のみち青少年文芸選奨					香々美川文芸選奨			
	現代詩	短歌	俳句	川柳	合計	短歌	俳句	川柳	合計
令和4年度	8	115	263	173	559	40	87	67	194
令和5年度	12	98	214	118	442	31	87	56	174

オ 芸術の振興

芸術活動についても鏡野町文化協会と連携し、日頃の学習の成果の発表の場である町文化祭を開催することができました。またOKUTSU芸術祭への助成や総合文化施設、中央公民館を利用し写真、絵画などの芸術作品の展示を行いました。今後も様々な分野の活動を支援してまいります。

施設整備については、香南公民館改修工事を実施するとともに、令和6年度での改修工事に向けて、大野・中谷・郷・奥津公民館で実施設計業務を行いました。

今後も町民のみなさまに使いやすい施設となるよう努めてまいります。

② 青少年の健全育成

子どもたちの支援として、放課後子ども教室3教室、学校支援地域本部事業などを行い、また令和元年7月から開始した家庭共育支援チーム「ぼちぼちの部屋」で、子育て中の保護者を対象に家庭問題などの相談の機会を設けるとともに、小学校の入学説明会等で保護者同士の意見交換の場を提供しました。

中学生・大学生・大人が本音で語る「だっぴ」事業について、中学1年生全員を対象に開催することができました。

かがみのっ子表彰についてはコロナ禍の影響により各小学校を訪問し表彰式を行いま

した。

令和5年度新規事業として、中学2年生を対象とした「鏡野町中学生夢づくり事業」を実施し、22名の中学生が、自分たちで決めた目的地に自分たちだけで旅をすることで、外から故郷を見て、何かを感じる体験をしました。

今後も鏡野町青少年健全育成協議会など関係団体と連携協議しながら青少年の健全な育成を図っていきます。

【かがみのっ子表彰者数】

年度	南	大野	鶴喜	香々美	香北	奥津	富	上齋原	他	合計
令和4年度	35	32	12	5	5	6	2	—	—	97
令和5年度	48	18	9	10	—	9	—	—	3	97

【家庭共育支援チームへの相談件数】

年度	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
令和4年度	11	8	17	6	42
令和5年度	31	20	10	30	91

③ 文化財の保護

文化財については、文化財保護審議会や郷土館運営委員会、オオサンショウウオ保護対策委員会などと連携しながら、郷土博物館や奥津歴史資料館において文化財の展示や体験講座を行い、郷土学習や文化財保護意識の向上を図り、町内の文化財の適切な保存・管理を行いました。また、平成29年度に岡山県の調査により町内の吉井川でチュウゴクオオサンショウウオの交雑種の存在が確認されたため、引き続き捕獲調査及び一時飼育・隔離飼育を行いました。(46匹を捕獲し、内18匹が交雑種)

令和6年度に取り壊しが決定している文化伝習館、鏡野資料館の所蔵資料を保管するため、羽出資料倉庫を整備しました。

(3) 体育振興

① 生涯スポーツの推進

生涯スポーツについては、「かがみのマラソン&ウォーキング大会」を、令和4年度に引き続き奥津湖周辺で開催しました。コースではハーフの部を復活させ、またコロナ禍により取り止めていた飲食・餅投げも復活させ、約600人の参加となりました。

文化スポーツセンター、B&G海洋センター、鏡野ドームを核として町内13施設で、多くの町民が快適にスポーツを楽しむことができるよう管理運営に努めました。

スポーツ推進委員会は地区公民館と連携して、ニュースポーツの指導を行い、高齢者やPTA、子どもたちへもニュースポーツの普及に努めました。

B&G海洋センターの水泳教室は、初心者コース、チャレンジコース、選手コース、女性ス

イミングコースなど、目的に応じて運営しました。

総合型地域スポーツクラブ「かがみのスポーツクラブ」は、年間を通じて太極拳や筋バランスストレッチ、ニュースポーツ教室などを開催し、参加者からは好評を得ています。

今後も、会員、各教室参加者を募るとともに、安定的な運営のために、引き続き活動を支援してまいります。

② 体育施設の管理

施設管理については、体育・文化施設を指定管理者により効率的な運営を行いました。

また、各施設をみなさんに安全に気持ちよく利用していただけるよう、老朽化が進んでいた奥津町民体育館の内装改修工事、B&G 海洋センターの照明 LED 化工事などを実施しました。

令和3年度から整備を進めていた多目的公園も、令和5年度で整備を終え、「鏡野ふれあい運動公園」として令和6年3月31日に落成記念式典を行いました。今後多くの町民に親しまれる公園となるよう、指定管理者と連携していきます。

IV 終わりに

令和5年度の鏡野町教育委員会の事務の管理と執行状況に関する点検及び評価は上記のとおりとなりました。今後も町長部局と密接な連携を図るとともに、町民のための効果的な教育行政の展開に努めてまいります。

